

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【公開番号】特開2021-65483(P2021-65483A)

【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2021-020

【出願番号】特願2019-193876(P2019-193876)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月22日(2022.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リールと、

ストップスイッチと、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と
を備え、

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、 30

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、

第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能
であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定
の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊
技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技に
おいて所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

特定の設定値(遊技者に最も不利な設定値)において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回
数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA(Aは数値)とし、

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った
場合の出玉率の設計値をB(Bは数値)とし、

所定の設定値(遊技者に最も有利な設定値)において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法
で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC(Cは数値)とし、

前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行
った場合の出玉率の設計値をD(Dは数値)とし、 50

する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD(Dは数値)とした場合、
A>B、且つ、C-A>D-Bとなるよう設計されており、
遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0005】

本態様に係る遊技機は、

リールと、

ストップスイッチと、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と

を備え、

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、

20

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、

第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技において所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

特定の設定値(遊技者に最も不利な設定値)において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA(Aは数値)とし、

30

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をB(Bは数値)とし、

所定の設定値(遊技者に最も有利な設定値)において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC(Cは数値)とし、

前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD(Dは数値)とした場合、

40

A>B、且つ、C-A>D-Bとなるよう設計されており、

遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とすることを特徴とする遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

50

内部抽選手段と、
遊技の進行を制御する主制御基板と、
演出を制御する副制御基板と
を備え、

内部抽選手段は、第1特定役及び第2特定役を決定可能に構成されており、
第1特定役は、ストップスイッチに対する操作態様に応じて遊技媒体の払い出し期待度
及び特典付与の期待度が互いに異なる複数の図柄組み合わせを有しており、
第2特定役は、ストップスイッチに対する操作態様に応じて遊技媒体の払い出し期待度
及び特典付与の期待度が互いに異なる複数の図柄組み合わせを有しており、
主制御基板は、副制御基板に演出グループ情報を送信可能に構成されており、
第1特定役に対応する演出グループ情報は所定値となっており、第2特定役に対応する
演出グループ情報は前記所定値となっており、
内部抽選手段により、演出グループ情報として前記所定値に対応する結果が決定された
遊技においては、ストップスイッチに対する所定の操作態様で遊技した場合と、ストップ
スイッチに対する特定の操作態様で遊技した場合とで、遊技者の有利度が同一となるよう
構成されている
ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50